

12月議会一般質問

第1問「安曇野の目指す共生社会の実現について」、第2問「子どもの発達支援のあり方について」第3問「民話の普及について」を取り上げました。



初春の風物詩 三九郎

1. 「安曇野の目指す共生社会の実現について」

「第2次総合計画後期計画」(*1)では、将来ビジョンを「自然、文化、産業の織りなす共生の街 安曇野」としているが、市長の目指す共生社会とは。

(市長) 全ての人の人権が尊重され、その人らしさ、その人の持つ力を十分に発揮できる社会、と考える。

男女共同参画と多様な性への市の取り組みは。

(政策部長) 男女共同参画の視点は大切。社会通念などを変え、PTAや自治会運営などの地域での女性の登用を啓発、支援する。

(教育部長) 幼稚園や子ども園では男女の呼称を同じにし、小中学校では多様な性や生き方を学んでいる。

2. 「子どもの発達支援について」

長野県の発表では、発達障害とされる児童生徒の数が増加しているが、本市における状況は。

(教育部長) 令和4年8月末時点で、市内の小中学校に601名、在籍数の約8%となっている。未就学児での小集団保育、小中学校での支援会議や個別の支援・指導計画により、発達特性に応じた支援を行っている。また、早期発見や対応が進んだことから、認知件数は増加したと考えている。

同じ年齢でも同じようにできないことがあったとしても、子どもの個性や特性と捉え、柔軟な対応が必要では。

(教育長) 専門医から、社会の急激な変化は子どもの脳の発達や成長に大きな影響を与え、幼少期の様々な交流や体験の不足も発達に影響するとの指摘がある。発達に個人差があることを、保育・教育の関係者や保護者も十分に認識し、枠にはめない姿勢が大切。

先生の意識を変えたり、保護者へ療育や居場所等の情報提供などの支援が必要では。

企業の人権啓発講演会で「女性の人権」を扱った。社会的弱者や女性の視点を入れた防災はどうか。

(危機管理監) 避難所の開設訓練での福祉避難スペースや男女別更衣室の設置、衛生用品の備蓄を進めている。危機管理課へ女性職員配置を図る。

ユニバーサルデザイン(*2)のまちづくりとあるが、指標など具体的な取り組みを伺う。

(政策部長) 今後の計画で施策や指標を設定する。

将来像を絵本にするなど、市民理解を促す工夫してはどうか。

(政策部長) 分かりやすいガイドブックを作成する。



(教育長) 保育者・教職員は学び続けることが大切。市は専門家による研修など行っており、引き続き取り組む。家庭から子ども家庭支援相談室(*3)や、スクールカウンセラーへ相談頂き、個々の特性に応じ支援している。

発達障害を抱える当事者の方は、年齢に関わらず様々な場面で生きにくさを感じている。早期から生活訓練や療育により、症状や特性とうまく付き合えることが大切。妊娠から乳児期の母子保健での支援メニューは。

(保健医療部長) 育児教室や個別相談をしている。

(教育部長) 子ども家庭支援相談室で、SSP(*4)学習会を開催し、支援に取り組んでいる。

国の進める「子育てひろば」設置して環境づくりは。

(教育部長) 市内9か所の児童館で相談体制がある。

3. 「民話の普及について」

安曇野は民話の宝庫といわれるほど、先人から受け継いだ民話が多い。地域の成り立ちや風土を伝えるものとして大切だが、子どもも大人も民話に触れる機会がなくなっている。どう考えるか。

(市長) 民話は口承されるもので、定義の問題はあるが、約60年前に刊行された旧安曇野郡誌などから34話ほどと認識している。地域のアイデンティティを高める上で必要。

(教育部長) 学校の授業での取り上げ機会は減っているが、図書館にコーナー設置や展示など行なっている。

民話は観光資源としても活用できるのでは。外国語訳などスポットを当てる取り組みはどうか。

※皆さまからのご意見を市政へおつなぎすべく、精力的に一般質問でも取り上げております。

(商工観光スポーツ部長) 世界的な観光の潮流で、市も推進している「アドベンチャーツーリズム」(*5)の要素のひとつに文化体験がある。関連する寺社仏閣や史跡など観光資源の活用、ガイド養成などの検討と合わせて、民話の活用について、提案を参考にする。

⇒民話に詳しい方、外国語に堪能な方など市民の力も借りて取り組めることを期待します。



泉小太郎の穂高人形

(一般質問における用語のご紹介)

*1 第2次総合計画後期計画…総合計画は、安曇野市のすべての計画の基本となる10年間の計画。現在、第2次期間中であり、令和5年～9年度の5年間の後期計画について、現市長のもと計画策定が進められている。

*2 ユニバーサルデザイン…年齢や障がいの有無、性別、国籍に関わらず、すべての人が利用しやすいデザインのこと。

*3 子ども家庭支援相談室…市役所1階に設置され、「子どもや家庭のこと」「ひとり親家庭等に関すること」「女性に関すること」を、面接または電話によって相談できる(電話番号:0263-71-2265)。

*4 SSP…コミュニケーションなど、社会で必要なスキルを身に付ける「ソーシャル・スキル・プログラム(Social Skill Program)」のこと。

*5 アドベンチャーツーリズム…「自然」「アクティビティ」「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行のこと。ウィズ・コロナ時代において、密集を回避し、かつ自然・文化等の地域資源を活用した観光形態として期待される。

活動予定

【小林ようこ活動報告&懇話会】

1月22日(日)、2月19日(日)の予定です。

時間や場所など詳細はWebページ等でお知らせします。皆さまのご参加をお待ちしております。

【3月安曇野市議会の予定】

2/20(月)開会、2/24(金)本会議、3/3(金)～7(火)一般質問、9(木)～13(月)常任委員会、3/22(水)閉会

※あづみのTVでも視聴可能です。

